

佐藤 智一

(希望)

独自政策として習い事パウチャー導入を

【質】 すぐれた教育環境を生かし「学ぶ満足度日本一のまち」を目指し塾やスポーツ等の習い事へ助成クーポン券発行を提案する。起業支援にもつながるが導入のお考え、概算費用は。

【答】 習い事パウチャーの導入については、今のところ考えていないが、貴重な御意見であるので、全庁的によいような効果があるのか研究したい。年間の概算費用は、千葉県南房総市の事業を参考に、平均をとり月額4000円を全小中学生3590人に交付した場合、年間1億7000万円程度の費用が見込まれる。

都市計画を見直し民間主導のまちづくりを

【質】 用途地域の制限により民間の店舗出店等にフリーキがかかっている。社会生活のインフラ整備を民間主導で行うべきとの考えから、民間の意向に即した用途地域となっているか。

【答】 用途地域は、地域における住環境の保護等を図るため、建物の用途の混在を防ぎ、望ましい市街地の形成を誘導するため指定しており、局地的な土地利用のため、随時、変更を行うことは好ましくない。平成24年の見直しでは、建築士会や宅地建物取引業協会の方々等による検討会や住民説明会を実施した。今後も、同様に取りまわめたい。

その他の質問事項

- 熊本地震を受け避難所運営体制の見直しは
- ペットとの同伴避難の対応は
- 許可が必要となる開発行為の面積緩和を

菊地 時子

(日本共産党)

空き家活用の促進

【質】 今年3月閣議決定された「住生活基本計画」は空き家の活用について、介護、福祉、子育て支援施設、宿泊施設等の他用途への転換の促進を掲げている。市はこの課題にどう取り組むか。

【答】 県においても住生活基本計画の見直しが行なわれているものと考えており、市の住生活基本計画については、今後、県の動向等を見ながら、全庁的な検討が必要と考えている。空き家対策については、多くの施策分野にかかわることから、国・県の動向や各種制度等を踏まえて、市全体で、より効果的な対策を検討していきたい。

聴覚障がい者の災害用ベスト

【質】 聴覚障がい者の災害用ベストは、胸に「耳が不自由」と記され、ホワイトボード式筆談具と小さなライト、ホイッスルを備え、暗闇でも助けを求められる工夫がある。本市でも配布を。

【答】 聴覚障がい者に限らず、障がいのある方が困った時に手助けを求めるヘルプカードを検討している。ヘルプカードは、「手助けが必要な人」と「手助けしたい人」を結ぶカードで、障がいのある方が持ち歩き、災害時や緊急時等、周囲の人に手助けを求めたいときに使用するものである。災害用ベストは、ヘルプカードとあわせて検討したい。

その他の質問事項

- 市税完納要件の弾力運用
- 精神科患者の退院支援
- 引きこもり者への訪問支援

安岡 明雄

(改革のしろ)

ふるさと納税寄附金の活用と透明性

【質】 寄附していただいたおかげで「ICT教育に果たした」など、可視化することが重要だ。寄附額を基金に積み、使い道を明確にして公表する。この制度の趣旨に合致する取り組みを。

【答】 寄附者に対し、希望する寄附金の用途を選択できるよう提示しており、活用状況をホームページで公表している。今後、使途をより明確にすることや、御寄附いただく選択肢を広げること等について、より有効な手法を検討していきたい。

高齢者にやさしいまちづくりの推進

【質】 商店街で買い物をする時、サービスを提供することで、元気に楽しく街に行き交うことを促す、めんchoカードのシニア世代バージョン(仮)プラチナカードを提案する。

【答】 市内では、既に高齢者に対して料金の割り引き設定等、独自のサービスを提供する店舗・事業所も見受けられる。高齢者が日常生活を活動的に過ごすことは大切なことであり、サービス提供はこの活動を支援するきっかけづくりのひとつと考えるので、実施について、今後、検討していきたい。

その他の質問事項

- ふるさと納税と地域プロモーション
- ふるさと住民票制度の提案
- グラウンドゴルフの環境面の課題